

LCV「諏訪圏情報BOX」(第2回)について

- 放送日 平成30年5月8日(火)、5月15(火)
- テーマ しあわせ信州創造プラン2.0の諏訪地域計画(諏訪湖創生ビジョン)について
- 出演者 諏訪地域振興局企画振興課 課長 小口 秀昭
- 聞き手とのやりとり(概要)

Q1 諏訪湖創生ビジョンとは、どのようなものですか。

A1 前回の放送において、県政運営の基本計画となる「しあわせ信州創造プラン2.0」についてお話いただきましたが、今回の諏訪湖創生ビジョンは、しあわせ信州創造プラン2.0の中の「諏訪地域計画」の重点政策の一つに位置付けられています。

このビジョンは、地域の宝である諏訪湖の水環境の保全と、諏訪湖を活かしたまちづくりを一体的に進めることで、「泳ぎたくなる諏訪湖」「シジミが採れる諏訪湖」「誰もが訪れたい諏訪湖」を実現する道筋を示すものとなっております。

策定に際しては、関係団体や地域住民の皆様等から頂戴した「諏訪湖に対する熱い思い」を反映させていただきました。

Q2 諏訪湖の現状と課題について教えてください。

A2 諏訪湖の水質は、アオコが発生していた頃と比べますと、泳ぐことができる程度まで改善してきています。

しかし、近年の諏訪湖は、アオコに代わって水草ヒシの大量繁茂やワカサギの大量死が発生するなど、新たな課題が生じています。

また、諏訪地域の観光客は日帰りの割合が高いことから、諏訪湖を活かした観光振興の取組や、ジョギングやサイクリングなど、健康づくりの場としての利用促進も求められています。

これらの課題を解決するため、水質・生態系の保全や水辺整備などの施策を連携させ、行政や地域住民、企業等が一体となって取組を進めることが必要になっています。

Q3 諏訪湖創生ビジョンを策定するあたり、関係団体や地域住民の皆さんからどのような意見、提案がありましたか。

A3 湖底の酸素濃度を高め、ワカサギ等の減少に歯止めをかける「貧酸素対策」や、湖底の泥や砂を取り除く「浚渫の再開」については、特に多くのご意見を頂いております。

その他には、サイクリングロードの早期整備や、ゴミのない諏訪湖を望むもの、中には「諏訪湖の日」を制定してはどうかなど、様々なご意見やご提案を頂きました。

Q4 諏訪湖創生ビジョンが策定されましたが、これからの取組について教えてください。

A4 ビジョンの取組を実現するために、行政や諏訪湖に関わる取組をしている団体・企業のほか、個人の方でも参加できる「諏訪湖創生ビジョン推進会議」を立ち上げることであります。

この推進会議には、部会を設けてテーマごとに議論するほか、具体的な事業については、ワーキンググループを立ち上げ、機動的に取組を推進してまいります。

また、関係団体が行う取組について情報を共有するとともに、住民の皆様にも広く公表し、より実効性が上がるよう努めてまいります。

Q5 諏訪湖創生ビジョン推進会議は、団体だけでなく個人でも参加できるとのことですが、開催時期や参加方法等について教えてください。

A5 第1回目の会議を5月28日（月）午後1時30分から、諏訪合同庁舎において開催いたします。

参加を希望される方は、諏訪地域振興局企画振興課、電話（諏訪）57-2901（繰り返し）にお問い合わせいただくか、県のホームページにて開催案内が掲載されていますので、ご覧いただければと思います。